

学習指導要領の変遷に関する一考察

鈴木 美枝子

Study on amendments to the course curriculum made by the Ministry of Japan

Mieko SUZUKI

I. はじめに

2017年3月に改訂された幼稚園教育要領及び学習指導要領の告示があった。幼稚園教育要領及び学習指導要領の前文には、教育基本法第1条に教育の目的、第2条に教育の目標が掲げられている。そして、これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。幼稚園教育要領、学習指導要領とは、これからの時代に求められる教育を実現していくために、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を大綱的に定めたものである（文部科学省，2017）。

筆者は、2016年4月に短期大学に勤務し、教員免許更新講習で「発達・学力観の変遷と評価」を担当している。講義の最初に、学校教育制度（初等中等教育）の変遷について整理をして話をしてきた。今年度は、特に10年に一度の改訂の年にあたる。改訂された幼稚園教育要領や学習指導要領を理解するためには、それぞれの変遷を理解しておくことが重要である。しかし、日々、教育現場で仕事をしている現職の教師にとっては、学校教育制度や幼稚園教育要領及び学習指導要領の変遷については、学ぶ機会が少なかったのではないだろうか。そこで、本研究では、学習指導要領のおおまかな変遷の流れに加えて、それぞれの改訂の背景にある社会的背景について整理し、学習指導要領の変遷を学ぶ意義について検討することを目的とした。

II. 学習指導要領の変遷

戦後、発行された学習指導要領について、発行年ごとに、特徴、主な内容、社会的背景などについて整理した。

1947年（昭和22） 占領下の学習指導要領

<特徴>

戦後、初めて発行された学習指導要領である。この学習指導要領は、アメリカの影響を受けながらも、古い戦時体制化の教育を、教育基本法、学校教育法のもとで新しい教育を作り上げていくために行われた教育改革として画期的な意味を持つものである。

- ・児童・生徒の自発的な活動を基礎としてその学習の発展を考える。
- ・一人一人の個性を重視し、できるだけ柔軟に学習活動を展開する。

※1946年来日した米国教育施設団報告書の勧告をもとにした試案だった（アメリカのcourse of studyを下敷きにしたもの）。日本の教育を平和国家の建設、そして、それを担う国民の育成を目指す教育課程として歓迎された。

<内容>

- ・従来の戦時色の強かった修身、公民、地理、歴史がなくなり、新しく「社会科」が誕生した。
- ・家庭科が新しい名称のもとに内容を新たに加えられた。
- ・新しい教科として自由研究の時間が設けられた。
- ・各教科の内容やその取扱いについては、児童の生活を重視することとした。

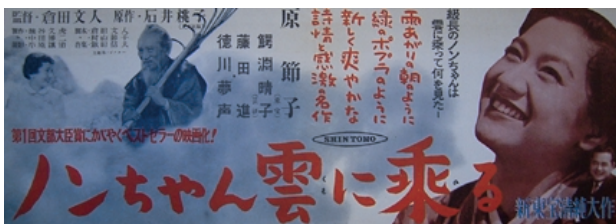
<社会的背景>

【法律】教育基本法・学校教育法公布、6・3・3学制発足
新憲法施行（5月3日）

○学校給食実施…全国主要都市で週2回

- ・アメリカから脱脂粉乳が提供される。

○ノンちゃん雲に乗る



1951年（昭和26）児童中心主義（経験を基盤とする学習）

<特徴>

◎教育課程審議会答申を受け試案として刊行

- ・「教科課程」→「教育課程」とし、学校教育全ての教育活動を対象として教育計画的な内容を持つ。
- ・授業時数の見直し
- ・道徳教育、健康教育の充実等

※前回（1947年発行）の学習指導要領は、新学制に合わせた突貫工事であったため、改訂が早まり、1951年に発行されることになった。「児童中心主義」は、戦後教育改革期における生活主義中心とともに、それを受け継ぎ発展させようとしたものである。そのため、一部において、「新教育批判」が台頭しつつあった。

<内容>

- ・教科を次の4つの経験領域<①学習の基礎となる教科（国語・算数）、②社会や自然についての問題解決を図る教科（社会・理科）、③主として創造的な表現活動を行う教科（音楽・図画工作・家庭）、④健康の保持増進を図る教科（体育）>に分け、これらに充てる授業時数を教科の総授業時数に対する比率で示す。教科と教科以外の総授業時数の基準を2学年ごとにまとめて示した。
- ・家庭科（第5、第6学年）は他の教科と著しく重複する目標や指導内容を整理して存置する。
- ・毛筆学習は国語学習の一部とし、4学年から課す。
- ・自由研究を発展的に解消し、教科の学習では達成されない目標に対する諸活動を包括して「教科以外の活動の時間（小）」「特別教育活動（中）」を設ける。
- ・道徳は、学校教育のあらゆる機会に指導する。

<社会的背景>

【法律】児童憲章制定宣言



○「やまびこ学校」無着成恭

43人の生徒全員の作品で、生活実体験の中から出てきたものであることが評価されている。

※戦後の民主主義教育の典型例として反響を呼んだ教育実践記録である。



○二十四の瞳（1953：昭28）NHK

第二次世界大戦を突き進んだ歴史に、否応なく飲み込まれていく女性教師と生徒たちの苦難と悲劇を通して、戦争の悲壮さを描いた作品である。

1958年（昭和33） 基礎学力の充実（「系統学習」の強調）

<特徴>

◎学習指導要領は法的根拠を持つ「文部省告示」とされた。

- ・教育課程の基準としての性格の明確化（系統的な学習の重視）
- ・道徳教育の時間の新設、基礎学力の充実、科学技術教育の向上等

※独立後の新たな国家の国民としての誇りをもち、個性豊かな文化の創造と民主的な国家と社会の建設に努め、国家社会において真に信頼され、尊敬される日本人の育成が目指された。そのため、基礎学力の充実、科学技術教育の振興を図ることとなった。

<内容>

- ・道徳教育の徹底を期すため、新たな道徳の時間が特設された。そこでは、情操・国民の道徳性の形成が強調された。
- ・基礎学力の充実を図るため、国語、算数の内容を充実し、その授業時間数を増やした。
- ・小・中学校の教育内容の一貫性を図った。
- ・教育課程の最低基準を示し、義務教育の水準の維持を図った。
- ・新教育課程を4領域（各教科・道徳・特別教育活動・学校行事等）で構成する。
- ・科学技術教育の向上を図るために算数、理科の充実を図る。
- ・地理、歴史教育を充実改善した。
- ・情操の陶冶、身体健康、安全の指導を充実した。
- ・各教科の目標及び指導内容を精選し、基本的な事項の学習に重点を置いた。

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則の一部を改正

○1958年から基礎学力の充実を目指し「学力調査」が実施された。



○テレビアニメ「鉄腕アトム」

・1963（昭38）～1966（昭41）放映

21世紀の未来を舞台に、原子力（後に核融合）をエネルギー源として動き、人と同等の感情を持った少年ロボット、アトムが活躍する物語。



東京オリンピック

1964（昭39）



東海道新幹線開通

1964（昭39）



1960（昭35）

日本初の国産カラーテレビ
東芝21型D-WE

1968年（昭和43） 能力主義化と中等教育の多様化推進の教育課程

<特徴>

◎一層の生活の向上、文化の発展、科学技術の進展、国際的地位の向上に伴っての教育内容の改善がされた。

- ・時代の進展に対応した教育内容の導入
- ・算数における集合の導入 等

※高度経済成長を背景として、能力主義、教育の効率化、中等教育の多様化が進められた。

<内容>

- ・授業時数を「最低」から「標準」に改め、地域や学校の実態に即した弾力的な運用ができるようにした。
- ・特別教育活動と学校行事の内容を整理統合して、特別活動とした。「必修クラブ」の授業が新設された。
- ・小学校教育課程を、各教科・道徳・特別活動の3領域と定めた。
- ・科学技術の急速な進展を考慮して、算数、理科を中心にして新しい概念や内容を取り入れるなど、いわゆる現代化を図った。

- ・「体育の充実」に関する項目が総則に盛り込まれる。

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則の一部改正

- ・昭40年教育課程審議会「小学校、中学校の教育課程の改善について」

○1970（昭45）大阪万博

「人類の進歩と調和」をテーマに掲げ、77か国が参加し、戦後、高度経済成長を成し遂げアメリカに次ぐ経済大国となった日本の象徴的な意義を持つイベントとして開催された。



1977年（昭和52） ゆとりある、しかも充実した教育課程

<特徴>

◎「自ら考え、正しく判断できる力」をもった児童・生徒の育成をめざし

- ・人間性豊かな児童・生徒を育てる。
- ・ゆとりある、しかも充実した学校生活が送れるようにする。
- ・国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視すると共に、個性や能力に応じた教育が行われるようにする、ことを中心に改訂された。

<内容>

- ・知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒の育成を図るため、道徳教育や体育を一層重視していく。
- ・各教科の基礎的・基本的事項を確実に身につけられるよう各教科内容を精選する。
- ・各教科の標準授業数を削減して、ゆとりある、しかも充実した学校生活を実現すると共に、学校が授業時数の運用に創意工夫ができるようにする。
- ・各教科の目標や指導内容を中核的な事項にとどめ、学校や教師の自発的な創意工夫を加えた指導が十分展開できるようにしていく。

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則一部改正

○1973年度、高校への進学率が90%を超える。このことは、教育普及の発展に明るい光の面を現す反面、学校教育が知識の伝達に著しく偏っているという影の部分を増大させ、極端な偏差値教育と進学競争が激化した。

○社会現状として、

①経済成長の負の面（公害・環境問題・オイルショックなど）の問題が顕著に現れる。

②校内暴力・いじめ・自殺・不登校・家庭内暴力・非行の増加などが問題となった。

○国際化・情報化・高齢化・都市化・価値観の多様化から教育への根本的見直しが必要となる。

○学園ドラマ3年B組金八先生 1979（昭54）～2011（平23）放映

TBSで放送されていた学園ドラマ。東京都の中学校の教員である坂本金八が学級担任をしている3年B組内に起こる様々な問題を体当たりで解決していく。そんな彼の姿に心を打たれた生徒たちが考えを改め、人間として成長していく様子を描く。



1989年（平成元） 新しい学力観に立つ教育と個性重視の教育

<特徴>

◎社会の変化に自ら対応するために、教育活動全体を通じて、豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成を図る。

- ・基礎・基本の重視と個性教育の推進を図る。
- ・文化と伝統の尊重と、国際理解の推進を図る。
- ・入学式や卒業式における「国旗、国歌」の取り扱いを明確化した。

<内容>

- ・低学年に、新教科として「生活科」を新設し、社会科・理科を廃止する。
- ・道徳教育の充実。
- ・中学校への習熟度別指導の導入をする。
- ・中学の「技術・家庭科」に「情報基礎」を新設する。
- ・高校への習熟度別学級編成の導入をする。
- ・高校社会科の「世界史」の必修化、「地理歴史科」と「公民科」の再編成。
- ・高校家庭科の男女必須化。
- ・学級会活動と学級指導を統合して「学級活動」とする。

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則の一部改正

- ・1984年から、教育制度改革のための臨時教育審議会が発足。
- 「ゆとり教育」とは、昭和30年代、40年代の教育がもたらしたものは「優勝劣敗の教育」だったという反省から、人間性回復のゆとりある、しかも充実した教育の重要性を強調するようになった。

1998年（平成10） ゆとりの中で生きる力を育む教育

<特徴>

- ◎豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成すること。
- ◎自ら学び、自ら考える力を育成すること。
- ◎ゆとりある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実すること。
 - ・各学校の特色のある教育、特色ある学校づくりを進めること。
 - ・盲・聾学校及び養護学校との交流、特殊学級及び通級による指導が明記される。

<内容>

- ・豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
 - 社会や体育、道徳、特別活動等において、それぞれの特質に応じて、内容や指導方法の改善を図ることに配慮。
- ・自ら学び、自ら考える力を育成すること。
 - 教育課程の弾力的運用：子どもの実態に対応した工夫として、「総合的な学習の時間」「各教科・領域」「選択教科」の設立。
 - 「生きる力」としての資質・能力を育てるための諸学習活動の工夫、「総合的な学習の時間」、社会的規範知識の育成に合わせた生きる力のスキル（体験・調査・作業活動・問題の発見・解決・探求の能力）を図る。
- ・ゆとりある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する。
 - 完全学校週5日制を円滑に実施し、生涯学習の考え方を進める。
 - 年間総授業時間数の削減、各教科の教育内容を授業時間数の縮減以上に厳選し基礎的・基本的な内容に絞る。
 - 教科の特性、活動の特性に応じた多面的評価の導入。
 - 学習環境や教育環境の整備とそれらの環境の有効利用（インターネット、地域社会における情報ネットワークなど）
- ・各学校が創意工夫を生かし特色ある教育、特色ある学校づくりを進めること。
 - ゆとりある教育を実現するために、PTA、地域社会、教育委員会等との連携・協力や非常勤講師などの導入による教育活動の工夫。
 - 学校長のリーダーシップの確立と教職の自己責任による学校の自主性・自立性の確立。地域社会に開かれた組織運営づくり。

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則の一部改正

- ・生涯学習班の答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」
 - ・中教審第1次答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(1996)
- 「登校拒否、学校嫌い」の子どもの増加。
- 進学をめざし学習塾へ通う子ども、受験対応の知識注入の学習指導、個性を生かす教育に踏み切れない学校の画一的な教育の改善。
- 多様な遊びや社会・自然体験など諸体験的な活動にめぐまれない子どもたちの教育環境の変革と、子どもにゆとりのある生活と楽しい学校をどう創造していくか。
- 学園ドラマ ごくせん 2002(平14)～2008(平20) 放映



任侠集団・大江戸一家で育った熱血高校 教師、山口久美子(通称・ヤンクミ)が不良ぞろいの3年D組で活躍する学園ドラマ。

2008年(平成20)

『生きる力』の育成、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成のバランス

<特徴>

○改正教育基本法等を踏まえた学習指導要領の改訂

- ・教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成する。
- ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視、授業時数を増加させる。
- ・道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する。

<内容>

○言語活動の充実、○理数教育の充実、○伝統や文化に関する教育の充実、○道徳教育の充実、○体験活動の充実、○外国語教育の充実、が掲げられる。

(重要事項)

- ・幼小連携を推進、幼稚園と家庭の連続性を配慮、預かり保育や子育てを推進(幼稚園)
- ・環境、家族と家庭、消費者、食育、安全に関する学習を充実
- ・情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実
- ・部活動の意義や留意点を規定
- ・障害に応じた指導を工夫(特別支援教育)

- ・「はだめ規定」を原則削除

<社会的背景>

【法律】教育基本法の改正（平成18年12月）、

学校教育法一部改正（平成19年6月）

学校教育法施行規則の一部改正

○映画：崖の上のポニョ（2008年）宮崎駿監督



アンデルセンの童話『人魚姫』をモチーフに現代を舞台にして描いたファンタジーアニメ。5才の宗介と出会って、「人間になりたい」と願うポニョの心の交流と冒険を、CGを使わずに手描きアニメでの表現にこだわって製作された。

○東日本大震災 2011年（平23）3月に発生

2011年平成3月11日東北地方太平洋沖地震による災害およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故による災害である。大規模な地震災害であることから大震災と呼称される。

2017年（平成29）

子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力の育成と社会に開かれた教育課程

<特徴>

◎教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの学校教育の実践や蓄積を活かす。2030年の社会と子どもの未来に対応する。

- ・子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成とそれを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」。
- ・知識の理解の質をさらに高め、確かな学力の育成。
- ・道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

<内容>

○知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」

- ・「何ができるようになるか」を明確化
- ・我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善

○各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

○教科内容の主な改善事項

- ・言語能力の確実な育成・理数教育の充実・伝統や文化に関する教育の充実・道徳教育の充実・体験活動の充実・外国語教育の充実

(その他の重要事項)

- ・幼稚園教育要領
- ・初等中等教育の一貫した学びの充実
- ・主権者教育、消費者教育、防災・安全教育などの充実
- ・情報活用能力（プログラミング教育を含む）
- ・部活動
- ・子どもたちの発達の支援（障害に応じた指導、日本語の能力等に応じた指導、不登校等）

<社会的背景>

【法律】学校教育法施行規則の一部改正

○ホームドラマ コウノトリ

テーマは「生まれること、そして生きること」。一児の父である原作者の鈴ノ木が、わが子の出産を通して知った「命」の現場である産科医療の現場が描かれている。「出産」に関する医療従事者と患者のあたたかい人間ドラマをベースに、「妊娠」「出産」で生まれる人と人との結びつき、夫婦、そして親子のあり方、「命」が誕生するまで、誕生した後の葛藤、倫理、医療関係者と患者の関係など、命が誕生する「奇跡」がテーマとして描かれた作品。

Ⅲ おわりに

これまで学習指導要領は、時代の変化や子どもたちの状況、社会の要請等を踏まえ、おおよそ10年ごとに、数次にわたり改訂されてきた。その変遷について、昭和22年から各時代の社会的背景（マスメディアでの報道を中心に）に整理し直してみた。

前回の改訂（平成20年）は、教育基本法の改正により明確になった教育の目的や目標を踏まえ、知識基盤社会でますます重要になる子どもたちの「生きる力」をバランス良く育ていく観点から見直しが行われた。特に学力については、「ゆとり」か「詰め込み」かの二項対立を乗り越え、基礎的な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度という学力の三要素のバランスのとれた育成が重視されることとなった。しかし、社会全体では、「ゆとり教育」に対する影響は根強くあり、2016年（平28年）にテレビで放映された「ゆとりですがなにか」というドラマが話題となった。

今回の改訂では、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成すること

が掲げられた。知識の理解の質を高める資質・能力を育むために「主体的・対話的で深い学び」として、学習をするときには「何ができるようになるか」を明確化することが求められている。知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等を①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で再整理された（文部科学省，2017）。

このように時代の変化や人々の状況を理解したり、学習指導要領の改訂を理解したりするためには、学習指導要領の文面だけではなく、その裏のある時代背景や理念を理解しておくことが重要である。しかし、時代の変化や人々の状況から導きだされている教育政策の提言や学習指導要領の規定が、教育の最前線にある学校現場に必ずしも届いているとは言えないのではないだろうか。

今後、学習指導要領について講義を行うときには、その変遷と各時代を反映していると思われるニュースやドラマ等を対応させ、学習指導要領を通して目指す教育の在り方を正しく理解することができるよう工夫をしていきたい。そして、受講生（学生も含む）一人一人が、現在の教育について考える端緒となるよう努力したい。

引用文献

阿部光一（2017）学習指導要領の変遷－現場での体験を交えて－，明治大学教育会紀要 9，63-70

河口陽子（2014）自己指導能力を育む生徒指導の最高（1）～学習指導要領の変遷に見る学校教育が探求する「学び」～ 日本経大論集第44巻（1），1-21

文部科学省（2011）学習指導要領の変遷

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryu/_icsFiles/afieldfile/2011/04/14/1303377_1_1.pdf

文部科学省（2011）学習指導要領の改訂のポイント

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/30/1234773_001.pdf

文部科学省教育課程課/幼児教育科編集（2013）教育の未来を拓く学習指導要領の変遷

文部科学省（2017）小学校学習指導要領

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/05/12/1384661_4_2.pdf

文部科学省（2017）学習指導要領の改訂のポイント

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/newcs/_icsFiles/afieldfile/2017/06/16/1384662_2.pdf

全日本特殊教育研究連盟編 全国特殊教育研究連盟結成50年記念 機関紙で見る知的障害教育50年
民秋 言 編集代表 (2017) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・
保育要領の成立と変遷. 萌文書林

社会的背景に関する資料

戦後昭和史 <http://shouwashi.com>

ウィキペディア フリー百科事典 <https://ja.wikipedia.org> より引用したもの

・ノンちゃん雲に乗る・やまびこ学校、・二十四の瞳、・鉄腕アトム、・大阪万博・金八先生
3年B組、東京五輪 公益財団法人 日本オリンピック協会、

https://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/2014/

東海道新幹線開通 毎日新聞社「昭和毎日」

<http://showa.mainichi.jp/news/1964/10/post-2656.html>

カラーテレビ HH News&Reports

<http://www.hummingheads.co.jp/reports/series/ser04/140501.html>

ごくせん ドラマごくせん (第1シリーズ) <https://www.google.co.jp/>

崖の上のポニョ 年代流行 <http://nendai-ryuukou.com/2000/movie1/041.html>

コウノトリ TBS番組表 <http://www.tbs.co.jp/kounodori/>

